

蔓バラの棚の下に坐ったニコは
二階のベランダに移した
三十三鉢のガーベラを
無言で見つめていた。
よし、やろう。
いま、やると決めよう。



2016年 集英社

「Story

ロサンゼルス在住の叔母・菊枝の死を知った小畑弦矢。彼女の遺言で、弦矢は巨額な遺産の相続人に自分が指名されていたことを知る。さらに、幼くして病死したはずの菊枝の娘・レイラが実は幼児誘拐事件の被害者であり、20数年経った今なお行方不明であることが判明。弦矢は、叔母が邸宅に残したさまざまなヒントを手がかりに謎を追始める。そこには母と子に秘められた、人間の幸福をめぐる物語があった。

宮本輝氏とロサンゼルス

作品の舞台である「ランチョ・パロス・ヴァーデス」は、アメリカ合衆国カリフォルニア州ロサンゼルス市の住宅街。宮本輝氏の長男家族が海外赴任の際に暮らした街である。宮本氏は、現地に住む息子を訪ねた際に、南カリフォルニアの自然や風景からインスピレーションを得ている。特に街路樹などに使われる「ジャカラランダ (Jacaranda)」は、初夏には綺麗な紫色の花を満開にさせる樹木(写真)。菊枝の遺した家の中庭にも描かれている。



ジャカラランダ

もし、ある日突然億万長者になったら

祖母が邸宅に遺した庭、私立探偵と謎解き...
推理要素がありとどんどん先を読み進めたいのが
作品です。いっぽうで、ロサンゼルスの人々の
温けや、家族の悲しい過去など、人間的な
ストーリーが巧みに描かれています。もし一生で
使い切れないほどのお金を手にしたら、私は
どうするだろう?と考えてしまいました。

Review